



**サントリー文化財団 2024年度
研究助成「学問の未来を拓く」決定**

公益財団法人サントリー文化財団（理事長 鳥井信吾）は、2024年度研究助成「学問の未来を拓く」として、応募総数522件のうち、30件を助成対象に決定しました。助成総額は3,000万円です。

本助成は、人文学、社会科学の分野において、従来の「研究」や「学問」を問い直す知的冒険に満ちたグループ研究に対して助成を行うものです。

本年度は、観光振興を目的とした都市開発により、地域住民の住居や商店などが立ち退きを余儀なくされる事例に着目し、観光振興が地域に及ぼす影響を検討する「ツーリズムジェントリフィケーションによる居場所の立ち退きについて」

（代表：芸術文化観光専門職大学芸術文化・観光学部准教授 池田千恵子氏）や、神殿や古墳などの大型モニュメント、都市や貨幣は、権力を具象化したものであるとみなす従来の常識を、宗教学や人類学、思想史、考古学などさまざまな視点から見直し、刷新する「人類史におけるモニュメント・都市・貨幣の脱権力化：国家に抗する社会をめぐる人文科学知の総合に向けて」（代表者：京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科特任准教授 小茄子川歩氏）などがあり、新たな見地の提供が期待される冒険的な試みを多数採択しました。

*** 選考委員**

- 荒木 浩氏 （国際日本文化研究センター教授）
- 遠藤 乾氏 （東京大学教授）
- 隠岐 さや香氏 （東京大学教授）
- 金水 敏氏 （放送大学大阪学習センター所長、特任教授）
- 酒井 隆史氏 （大阪公立大学教授）
- 山室 信一氏 （京都大学名誉教授）

* サントリー文化財団研究助成（公募）について

当財団は、1979年の設立以来、人文学、社会科学の分野において、広く社会と文化を考えるための国際的、学際的な研究活動に対し助成を行ってきました。

現在は、グループ研究助成「学問の未来を拓く」、個人研究助成「若手研究者のためのチャレンジ研究助成」の2つのプログラムを設けています。研究の成果は論文発表・図書出版などで広く内外に発表されています。

* この件に関するお問い合わせ先

公益財団法人サントリー文化財団

研究助成「学問の未来を拓く」係

TEL 06-6342-6221 FAX 06-6342-6220

ホームページ <https://www.suntory.co.jp/sfnd/>

2024年度研究助成「学問の未来を拓く」 助成先一覧

No	研究テーマ	代表者
1	アナキズム芸術をひらく 望月桂資料の研究 と利活用	二松学舎大学文学部 准教授 あだち げん 足立 元
2	ツーリズムジェントリフィケーションによる 居場所の立ち退きについて	芸術文化観光専門職大学芸術文化・観光学部 准教授 いけだ ちえこ 池田 千恵子
3	コミュニティと外部介入の暴力性：政治学・ 歴史学・神学と実践知の対話	福岡女子大学国際文理学部 准教授 いしがみ けいこ 石神 圭子
4	日本における新たな女性移民に関する質的研究： 文化的要因によって越境する女性たち	日本大学国際関係学部 助教 いとう まさとし 伊藤 雅俊
5	哲学方法論を問い直す：領域横断的アプローチ による哲学的思考実験の改良可能性の探究	北海道大学大学院文学院 博士後期課程 いなりもり きいち 稲荷森 輝一
6	進路指導における「思い込み」の実験経済学的 検証から「探究的な」進路選択支援の実践へ	神戸大学大学院経済学研究科 講師 いのうえ 井上 ちひろ
7	W P S がひらく軍隊の新しい地平	防衛省防衛研究所特別研究官（国際交流・ 図書）付 研究員 いわた えいこ 岩田 英子
8	「レコード学」の構築 — 研究基盤の形成と 魅力発信をめざして —	九州大学総合研究博物館 専門研究員 おおくぼ まりこ 大久保 真利子
9	「旧東独」の35年間を「小さな物語」から 捉え直す — メディア・まちづくり・学術・ アート	福山市立大学都市経営学部 専任講師 おおたに ゆう 大谷 悠
10	不可視化への抵抗：「世系と職業に基づく差別」 と「日本美術史」に関する研究	多摩美術大学美術学部 非常勤講師 おだわら 小田原 のどか
11	イスラーム社会における男女別学の倫理と ジェンダー	東京大学大学院人文社会系研究科 助教 おの ひとみ 小野 仁美

1 2	話し手の性差や声の高低、属性は政策の認知や受容に影響を及ぼすか	東北大学大学院情報科学研究科 准教授 かわむら かずのり 河村 和徳
1 3	人類史におけるモニュメント・都市・貨幣の脱権力化:国家に抗する社会をめぐる人文科学知の総合に向けて	京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究 研究科 特任准教授 こな すかわ あゆむ 小茄子川 歩
1 4	「歓待インフラストラクチャー」から読み解く近世ヨーロッパ都市文化＝空間構造の比較研究	上智大学文学部 教授 さかの まさのり 坂野 正則
1 5	同性婚は何を変えたのか ―― 台湾で実際に起きていること	明治大学法学部 教授 すずき けん 鈴木 賢
1 6	「やわらか、やさしい」図書館を通した超高齢社会における図書館のユニバーサルサービスの構築と社会実装	筑波大学図書館情報メディア系 助教 たけだ まさき 武田 将季
1 7	「道具の美」をめぐるメディア実践の歴史的研究:雑誌『工藝』『陶磁』『茶わん』『星岡』を資料として	大阪経済大学情報社会学部 准教授 だん やすあき 團 康晃
1 8	K-コンテンツの公共圏の可能性と限界:日中韓における2010年代後半以降の受容に着目して	立命館大学産業社会学部 特任助教 ちよ さんう 趙 相宇
1 9	イスラム紛争における元兵士の脱過激化・社会復帰政策の効果検証と展開	エセックス大学経済学部 講師 つだ しゅんすけ 津田 俊祐
2 0	パンフレットの総合的分析による戦間期の言論空間再考	早稲田大学政治経済学術院 教授 つちや れいこ 土屋 礼子
2 1	歴史を読み解き未来を紡ぐ思考法「リバースキャスト」の構築に関する学際的・実践的研究	ラボラトリオ株式会社 マネージャー ながしま ようすけ 長島 洋介
2 2	「家族」と「共同体」の再考:南西諸島における親以外の子育て慣習(島妻・妾・養子・奉公)に焦点をあてて	鹿児島大学グローバルセンター 教授 なかたに すみえ 中谷 純江
2 3	韓国における「白丁」のことばの収集・分析・記録:職業意識の多様性に注目して	椋山女学園大学情報社会学部 教授 ひぐち けんいちろう 樋口 謙一郎

24	日本酒醸造の変遷と言葉による味覚表現の関係史の構築を目指して	京都府立大学文学部 共同研究員 もり しろう 母利 司朗
25	アジアのアール・ブリュットに対する国際比較研究：研究基盤の構築とバーチャル・ミュージアムの開設準備	国際日本文化研究センター研究部 機関研究員 もりおか ゆき 森岡 優紀
26	中国農村部の生きた民間信仰の継承と再構築：巫女・道士・占い師に着目して	龍谷大学社会学部 専任講師 やん めいふあん 閻 美芳
27	シンガポールで中断されマラッカで再開された軍政下の医学教育が地域社会に及ぼした影響の再検討	京都大学東南アジア地域研究研究所 連携教授 よしかわ こ 吉川 みな子
28	「博物学の箱」プロジェクト	東北大学大学院教育学研究科 准教授 わしや ようすけ 鷲谷 洋輔
29	前近代日本における廃墟の文化史	立正大学文学部 教授 わたなべ ゆみこ 渡邊 裕美子
30	安楽死の法制化 — 人間の尊厳とは何かという問いからの検討 —	大阪大学大学院人間科学研究科 准教授 わたむら えいいちろう 綿村 英一郎

(敬称略、肩書きは申請当時、氏名50音順)

以 上